ＰＨ－６０５Ｐ形　カメラケース
取　扱　説　明　書

安全にお使いいただくために

ご使用の前に

- ご使用の前にこの「**安全にお使いいただくために**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は「禁止」の行為であることを告げる内容です。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は、その他の注意）が描かれています。

2010-10-T400249948 1/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948 /12

⚠ 警　告

■ **表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。**

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

■ **異常なときは使わない。**

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、煙が出なくなることを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **電源コードに傷をつけない。**

電源コードに傷をつけたり、加工したり、破損したりしないでください。
また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ **電源コードが傷んだら交換する。**

電源コードの芯線が露出したり、断線したときは交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ **発火や引火の危険がある場所に設置しない。**

ガスなどが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。

■ **分解したり、異物を入れない。**

ケースを開けて内部に触れたり、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災・感電の原因となります。

■ **落下する恐れのある場所に設置しない。**

もろい材質の天井板(および壁面)に設置しないでください。
落下して怪我(けが)の原因となります。

2010-10-T400249948 2/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948 /12

警　告

■不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。

■塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない。

取付部が劣化して落下などの事故の原因となります。

■ねじや固定機構はしっかりと締め付ける。

締め付けがゆるむと落下などで怪我の原因となります。

■振動、衝撃のある場所では使用しない。

落下して怪我の原因となります。

2010-10-T400249948 3/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948 /12

⚠ 注　意

■温度・湿度については、使用環境で定めてある範囲で使用する。

この機器の設置環境は、使用環境で定めてある範囲で使用してください。内部の温度・湿度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

■この機器の上に物を置かない。

バランスがくずれたり、落下したりして、怪我（けが）の原因となることがあります。

■振動や衝撃の加わるところには置かない。

この機器に振動や衝撃が加わると、火災や故障の原因となることがあります。

■引火性ガス。腐食性ガスのあるところには置かない。

この機器の周囲に引火性ガスや腐食性ガスがあると、火災の原因となることがあります。

■保守点検について。

保守点検は販売店にご相談ください。機器内部にほこりが溜まったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、保守点検の費用については販売店にご相談ください。

■上に乗らない。

倒れたり、壊れたりして怪我（けが）の原因となることがあります。

2010-10-T400249948 4/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948 /12

1. はじめに

日立 PH-605P 形カメラケースは、CCTV カメラをズームレンズと組合せて屋外で使用する場合に用いる保温用ヒーター及びヒーターガラス(デフロスター)、ワイパー付のカメラケースです。

本体は日除けカバー付き、自然空冷構造となっており、直射日光のもとでも使用できます。カメラケースの材質は、耐食アルミニウム合金を使用し、塗装は耐候性にすぐれ、さらに公害にも強いアクリル系樹脂焼付塗装を施してあります。

2. 標準構成

(1)カメラケース本体(ヒーター、ヒーターガラス、ワイパー付)		1
(2)カメラ取付ネジ(1/4”-20UNCx15)	(カメラ取付用)	1
(3)絶縁ブッシュ	(カメラ取付用)	1
(4)カメラ取付用ゴム板	(カメラ取付用)	1
(5)カラーネジ(M5x10)	(カメラ回転防止用)	1
(6)シールプラグ	(ケーブルコネクタ用)	2
(7)六角ボルト(SUS M6x14)・平座金・バネ座金	(雲台取付用)	4組
(8)取扱説明書		1
(9)ヒューズ (2A 125V)		1

3. カメラの取付方法(第1図参照)

本カメラケース内にレンズを取付けたカメラを収納した後は、レンズのフォーカス・絞り・画角の調整はできません(電動ズームレンズ使用の場合は調整できます)ので、カメラケースの外でレンズ調整を行ってください。カメラの取付・取りはずしは、必ずカメラケースを水平にして、下記の手順で作業を実施してください。

(1)背面板①の背面板取付ネジ② 4本をゆるめ、背面板①を本体から外します。

(2)スライドベース④を固定する蝶ネジ⑤をゆるめ、スライドベース④を引き出します。

(3)カメラ取付金具⑧に絶縁用ゴム板⑨を貼付けます。

(4)カメラはレンズを取付け後、絶縁ブッシュ⑦を介してカメラ取付ネジ⑥でカメラ取付金具⑧に固定します。(カメラの回り止めとして M5 カラーネジを取付けてください)

(5)カメラ取付金具⑧をスライドベース④に M3 長ネジ③ 2本で仮止めします。
(カメラ取付金具がスライドベース上を移動できる程度とします〉

(6)カメラケース本体⑪のガイド⑩に沿ってスライドベース④の先端が本体内部ストッパーに当たるまで挿入します。

(7)レンズ先端と前面板(ヒーターガラス)⑫までのスキ間を、約 10~20mm位空けてカメラの位置を決定します。次に、静かにスライドベース④を引き出して仮止めした M3 長ネジ③をしっかり締めつけます。
再びスライドベース④を挿入し、蝶ネジ⑤でガイド金具⑩を本体に固定します。

【ご注意】
前面板(ヒーターガラス)面に接触していると、カメラ(レンズ)やヒーターガラスが破損する場合があります。

2010-10-T400249948 5/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948

（8）背面板①を閉める時は、配線用端子台等部品に負荷をかけないようにし、ケーブル等の噛み込みが無い事を確認しながら、カメラケース本体⑪に、背面板取付ネジ②でしっかり締めつけてください。

【ご注意】

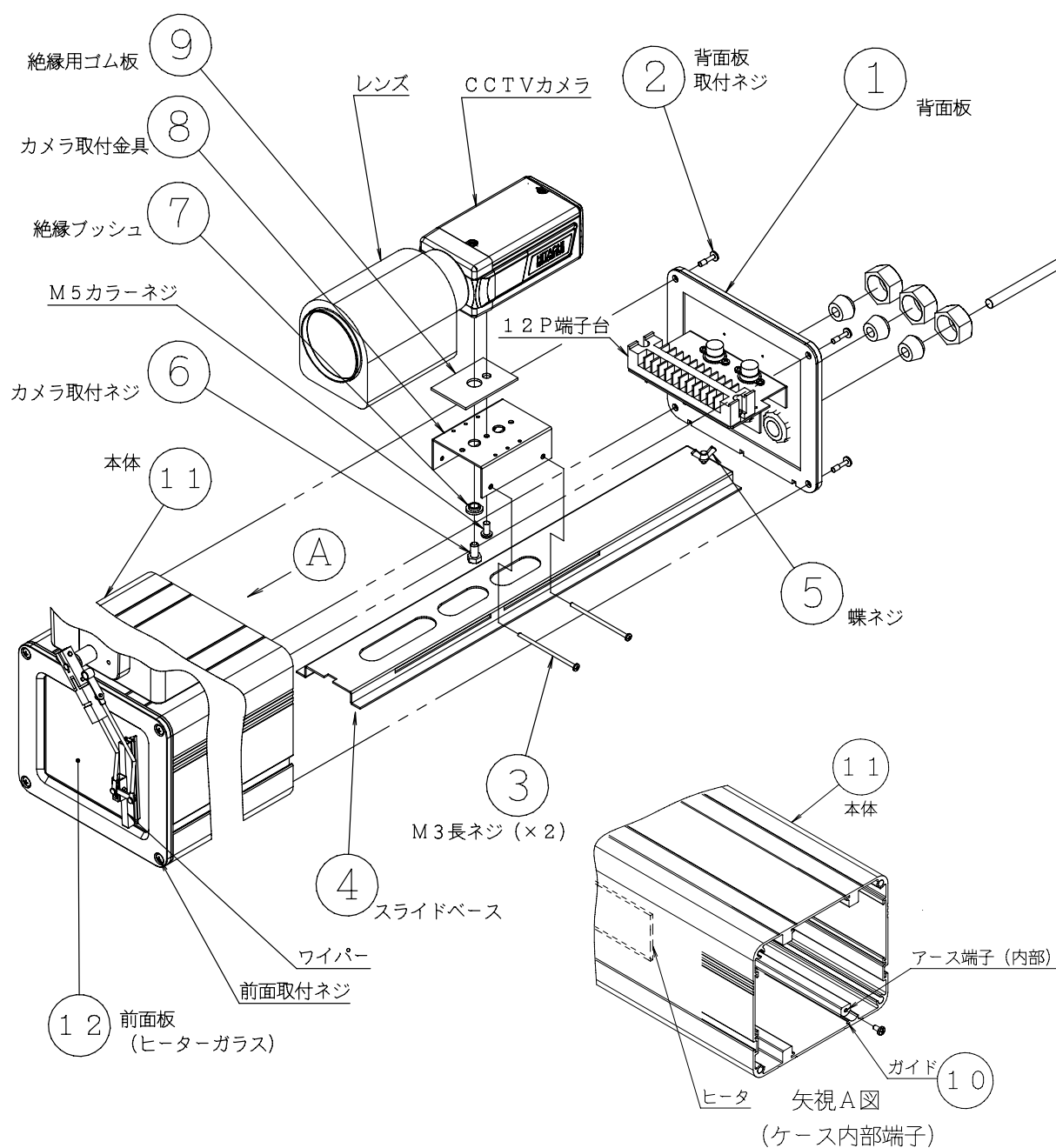
●ケーブルの噛み込みや片締めは防水効果を損ないます。

●前面板（ヒーターガラス）は、極力開けないでください。

前面板および背面板を固定している取付ネジ(落下防止付)の締めつけが不充分な場合、水もれの原因になります.

第 1 図

2010-10-T400249948 6/11 SI
PH-605P Ver1.20

T400249948

４．ケーブルの取付方法（第２図、第３図参照）

（１）ケーブルコネクタは背面板に３個装備しています。

３種類の径のケーブルコネクタを設置しています。それぞれに適合する径のケーブルを使用してください。（第２図参照）

（２）ケーブルを通すケーブルコネクタに、ケーブルを**ナット**、**ブッシング**の順に通し、必要な長さだけカメラケース本体内部へ引込み**ナット**を固く締め付けてください。

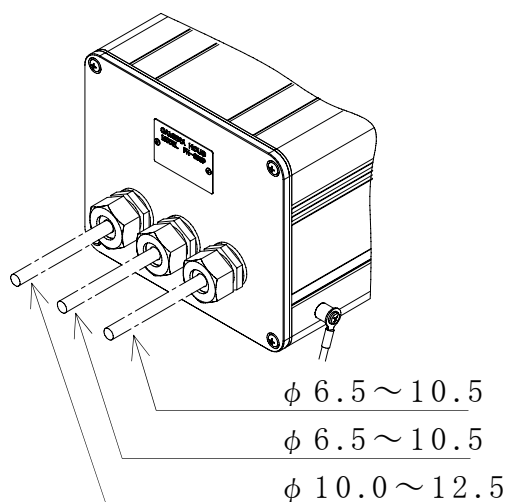
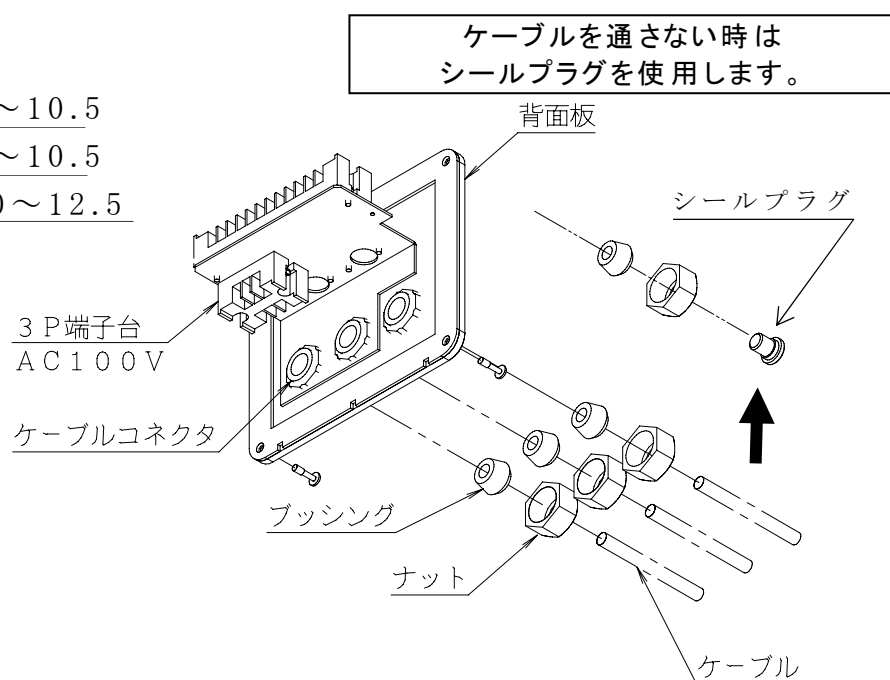
使用しないケーブルコネクタは、**ブッシング**の穴に付属の**シールプラグ**を差込み、**ナット**は手締めで固く締め付けてください。[注]（第３図参照）

（３）ケーブルの保持がゆるめの時は、自己融着テープかビニールテープを巻いてから**ナット**を締め付けてください。

> 注：ナットを工具で締付ける場合は、負荷を感じた時点から90°（ =1/4 回転）増し締めしてください。

第２図

第３図

2010-10-T400249948 7/11 SI
PH-605P Ver1.20

【ご注意】

- **ブッシングに合ったケーブルサイズを使用ください。**

  不適合の場合、雨水等の防水効果を損ないます。

- **ケーブルコネクタのナットの締め付けが不完全な場合、ケーブルが動き内部のカメラや端子台などが引っ張られ破損する恐れがあります。**

５．ＡＣ１００Ｖ電源ケーブルの接続方法（第４図参照）

（１）電源ケーブルはキャプタイヤコード又はキャプタイヤケーブルを使用し、その断面積が **0.75mm²以上**のものを使用してください。

（２）電源ケーブル（線色：黒及び白）の端末は、下記推奨の丸型圧着端子（ラグ端子）を圧着します。

（３）電源ケーブルが３芯の場合、アース線（線色：緑又は緑／黄）の端末は、下記推奨の丸型圧着端子（ラグ端子）を圧着します。

（４）丸型圧着端子を圧着した電源ケーブル（線色：黒及び白）を、**3P 端子台**の①番と③番と表示された端子に確実にネジ止めします。

アース線（線色：緑又は黄／緑）の端末は、アース取付け穴（Ｍ４用ネジ座）に確実にネジ止めします。

（５）端子台に**保護用透明カバー**を取り付けます。

推奨ビニール絶縁付丸型圧着端子（ラグ端子）

外部からの電源ケーブル（白、黒）
（ラグ端子を圧着）

ラグ端子：（日本圧着端子製）　穴内径：3.2mm
1.25-3、1.25-MS3、2-MS3 又は相当品

白　黒

アース線
（緑又は緑／黄）

3P端子台

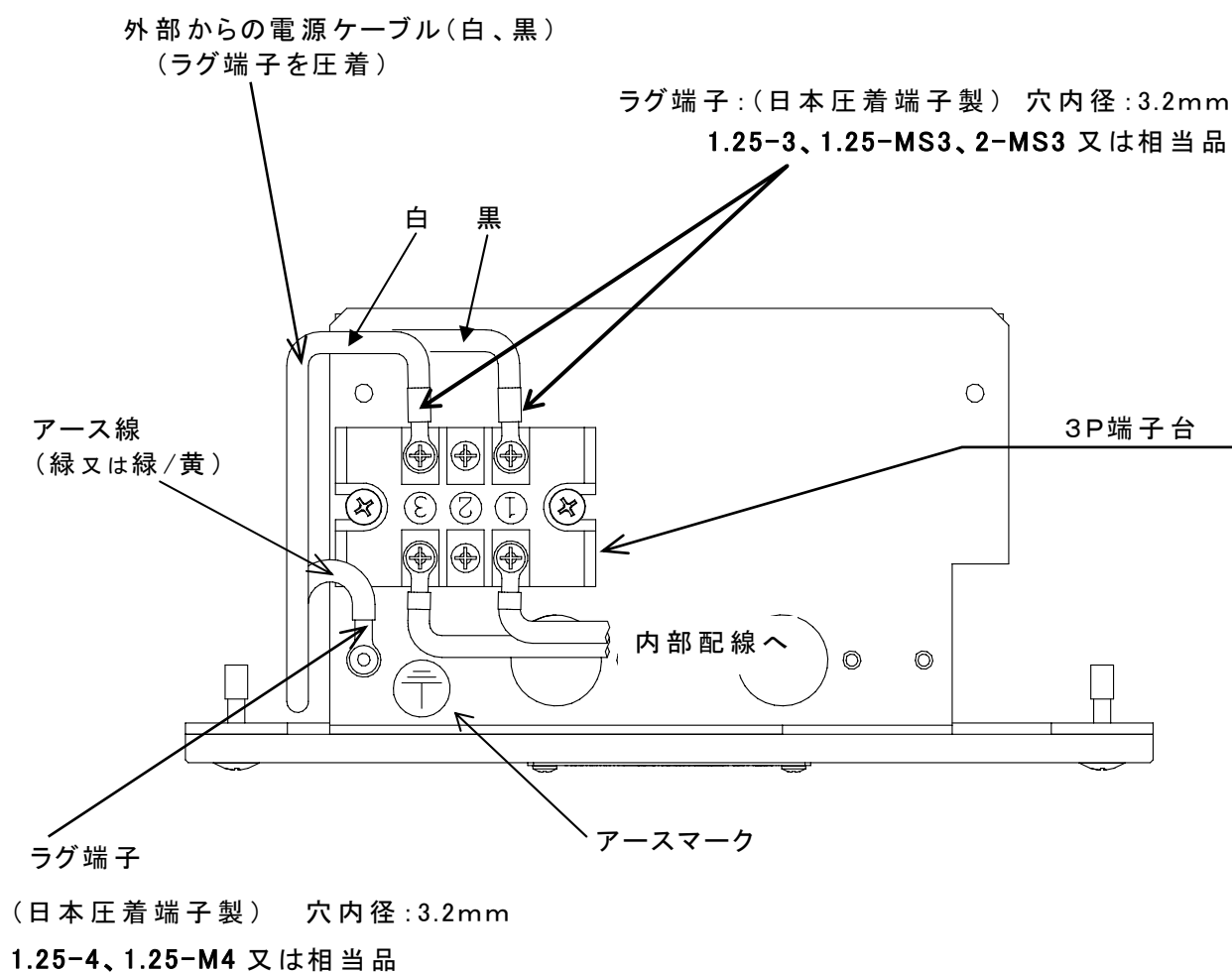
③ ② ①

内部配線へ

アースマーク

ラグ端子
（日本圧着端子製）　穴内径：3.2mm
1.25-4、1.25-M4 又は相当品

第４図

2010-10-T400249948 8/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948 /12

6. AC100V電源ケーブルが2芯の場合のアースの取り付け方（第５図参照）

（1）背面から見て右側面にあるアース端子（M4用ネジ座）にアース線を取り付けます

（2）アース線は、**1.25mm²以上の単芯コード**又は**キャプタイヤコード**で（黄／緑）色又は（緑）色の線材を使用してください。

（3）M4用ネジ座、歯付座金、ラグ端子、M4ネジの順番で、確実に締め付けてください。

（4）設置後本体との導通を確認してください。

推奨丸型圧着端子（ラグ端子）

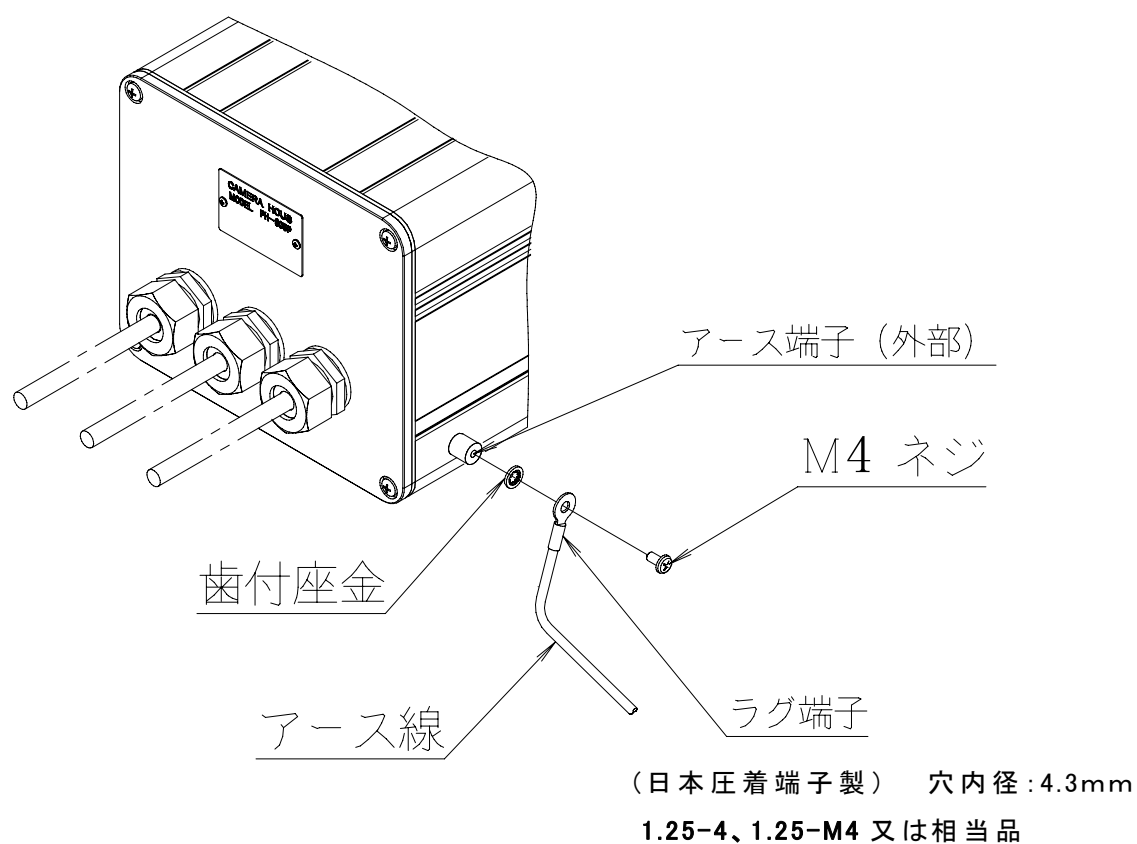
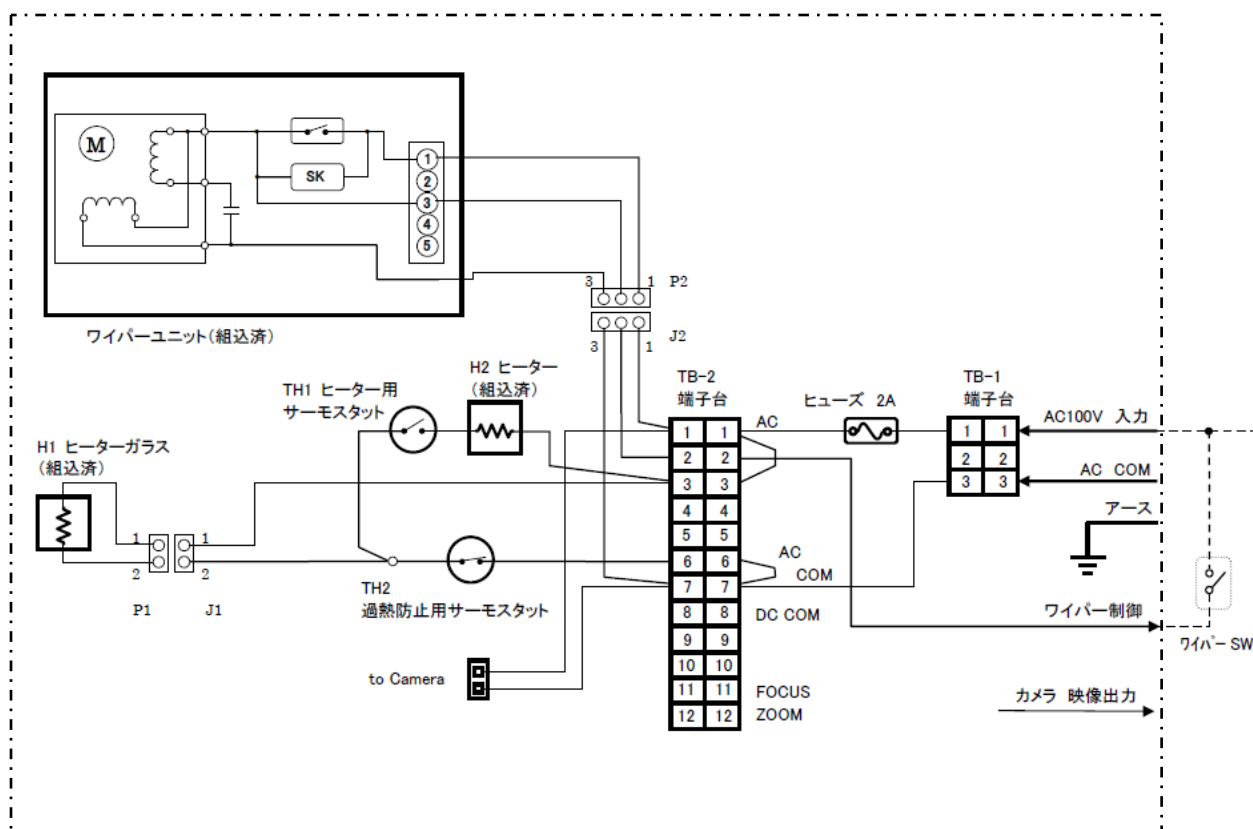
（日本圧着端子製）　穴内径：4.3mm

1.25-4、1.25-M4 又は相当品

第５図

2010-10-T400249948 9/11 SI
PH-605P Ver1.20
T400249948 /12

5. 内部接続図

2010-10-T400249948 10/11 SI
PH-605P Ver1.20

6. 仕 様

(1) 保護等級	IPx3相当(防雨形に準じる)(JIS C 0920に準拠)
(2) 適用カメラ・レンズ	1/3、1/2、2/3形CCDカメラ
消費電力	7W以下のカメラ 手動ズーム・電動ズーム(電動 NDEE 含む)レンズ および、固定レンズ(ES レンズ含む)
(3) 周囲温度	内蔵カメラの低温限界マイナス 10℃～高温限界マイナス 5℃ (例: カメラの周囲温度仕様が-10℃～+50℃の場合、 -20℃～+45℃となる)
(4) 周囲湿度	90%以下
(5) 材 質	耐食アルミニウム合金
(6) 取付方法	M6 ネジ 4 本 (天吊り不可)
(7) 適用雲台	半固定雲台(CH-13D または同等品)・・・・・・別売 電動雲台(RM-37 または同等品)・・・・・・・・・・別売

T400249948 /12

（8） 外形寸法　186(W)×203(H)×561(D)mm

（9） 質　量　約 7 kg

（10） 定格　AC100V　50/60Hz　約 70W

（11） ヒーターガラス　デフロスターガラス AC100V　50/60Hz　約 7W　連続動作

（12） ヒーター　AC100V　50/60Hz　約 50W　サーモスタットによる自動制御
カメラケース内温度　下降時：約 5℃で ON
上昇時：約 15℃で OFF

（13） ワイパー　拡払角度：60°±5°　AC100V 50/60Hz 約 15W

（14） 内部過熱防止　カメラケース内温度 約 70℃でヒーターガラス、ヒーターOFF
サーモスタット：手動復帰型

ご注意：

本サーモスタット動作時は、ヒーターガラス、ヒーターの異常が考えられます。調査確認を実施してください。

2010-10-T400249948 11/11 SI
PH-605P Ver1.20

T400249948 /12